

できる力の活用！～職業技能検定を通して～

7月27日（水）小出特別支援学校にて、県職業技能検定・魚沼地区職業技能検定が開催されました。当校より18名が、自在ぼうき・テーブル拭きの競技に参加しました。





当校生徒は、多くの人の中で緊張しながらも練習の成果を発揮することができました。また、他校の生徒の姿を見ることで大いに刺激を受け、学習に意欲的に励もうとする様子も見ることができました。

<参加のねらい>

- ・検定を通して他校生徒との交流を図り、自身の技能レベルを確認したり、職業学習の意欲を高めたりする。
- ・多くの人の中で検定を受け、緊張した環境でも全力で取り組む態度を育てる。

<生徒の感想>

- ・他の学校の友達が、とても大きな声で検定を受けていました。自分は、もっと大きな声を出さないといけないと感じました。
- ・たくさんの人が見ていてとても緊張しました。でも、練習した通りにがんばりました。
- ・検定を受けて自分ができていることとできていないことがはっきり分かりました。学校に戻ったらできなかったところをがんばって練習をします。
- ・他の学校のレベルが高くて驚きました。もっと練習をがんばります。

		<当校の合格者数>
当校生徒によるテーブル拭き検定の模範演技		○魚沼地区検定（テーブル拭き） 1級 2名 ○魚沼地区検定（自在ぼうき） 1級 1名 4級 2名 2級 4名 5級 1名 3級 3名
		○県検定（自在ぼうき） 3級 3名 4級 1名 5級 1名
検定の様子		

生徒の安全を確保するために、不審者対応訓練を実施しました

相模原の事件を受け、緊急に不審者対応訓練を実施しました。警察官より訓練に参加していただき、不審者の侵入を防ぐために、教室の内鍵を掛けることや机や椅子でドアを塞ぐなどどのように生徒の安全を守るかご指導をいただきました。

不審者に対しては、複数の職員で迅速に対応することに加えて、すぐに警察に出動を要請する訓練も実施いたしました。これらの訓練を生かして生徒の安全を第一に教育活動を行ってまいります。



訓練の様子